



富士河口湖町

議会だより



西湖観光協会のボランティアによる完成まじかな樹氷たち

新町の皆さま、1月31日(土)より、野鳥の森でお待ちしております。

- ◆ 議会役職一覧表 ————— 3 p
- ◆ こういうことを決めました ——— 4～5 p
- ◆ 3常任委員会報告 ————— 6～8 p
- ◆ 一般質問 ————— 9～13 p
- ◆ 新町に寄せるおもい ————— 14～15 p

**12月
定例議会**



新春のご挨拶

富士河口湖町議会議長 三浦 隆一郎

輝かしい平成十六年の希望の新春を迎えるにあたり心からお慶び申し上げます。

昨年十一月十五日一町二ヶ村の合併により、富士河口湖町が誕生して以来、昨年の十一月二十六日に初めての臨時会が開催され、はからずも議長に推挙されました。

その責任の重大さを一層痛感しております。

今後は、議会の円滑な運営と町政進展を第一として誠心誠意努力してまいります。町民二万三千有余名の絶大なご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。町政発展のために全力を尽くす覚悟であります。

さて、このところ景気は底を打ち、暖やかな回復を見せているようですが、失業率も高水準で推移しており、予断を許さない現状です。特に全国的に合併という流れの中で時代の転換期にあり、政治・経済・社会など様々な分野において変革が求められ、大きなうねりの中にあるとは申せ、国、地方とも厳しい財政状況の中で地方分権時代を迎え、特に「補助金、交付税、税源」問題を一緒に改革していく「三位一体」が一層進み、地方自治体は自己決定権

が拡大され、一方で自己責任が要求されるところであります。

市町村合併や少子高齢化に伴う福祉、介護、環境、教育、ごみ問題等多様化していく行政に的確に対応するために、我々議員もその責任が一層重く、更に自己研鑽に努めることを求められております。

町民一人一人が町政に関心を持って頂き、地域住民、執行部、職員、議員が丸となり、新時代に対応すべく切磋琢磨して行政の新しい方向性を見出していくことが必要であります。

タイムリーにも国、県、共に観光を重点施策として打ち出しており、わが富士河口湖町は将来像を「富士山と湖と高原のまち」として、観光資源にも恵まれ、更なる地域活性化を図り、また、我々議員もチェック機能と併せ町民の負託に応えながら、住み良い新町づくりの推進に努力してまいります。

今後とも尚一層のご支援、ご鞭撻を賜り、明るいまちづくりにお力添えくださいますようお願い申し上げます。

平成十六年が素晴らしい年でありますように、ご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

行政報告



新たな町づくり

「富士山と湖と高原のまち」

富士河口湖町長 小佐野 常夫

新生「富士河口湖町」は、昨年十一月十五日歴史的な第一歩を踏み出しました。また、三町村の議会、百八十の団体をはじめ多くの町民の皆様のご支援を頂き、町長として町政の執行にあたることになりました。住民主導の町政を心掛け、初心を忘れず全力で取り組む所存であります。平成十五年第一回定例会を開催するにあたり、町政執行に向けての所信と主要施策及び、提出議案について説明いたします。

本町の誕生には、一年四ヶ月にわたる合併協議会において各種協議を重ね新たな町づくりで最も重要な建設計画を策定し、将来像として「富士山と高原のまち」「日本の湖水地方」を大きなテーマとして「環境にやさしいまち」「観光と産業のまち」「五感文化のまち」「健康推進のまち」の四つのサブテーマを新町の目標としています。この目標実現のため、議員各位とともに手を携えていくことが我々に課せられた使命と感ずるところであります。

現在、国においては、三位一体の改革が進められていますが、国の極めて厳しい財政状況の中、地方行政も運営に支障を生じます。これからの地方自治体においては、自己財源で自己経費を賄う自立

経営が求められ、財政構造改革が必要であります。改革に臨んでは、費用対効果の視点にたつて、旧来の行政慣習や既成概念にとらわれず、個別の事業の精査・見直しに加え、徹底した経常経費の削減をしていかななくてはなりません。いわゆる前年度の実績から出発するのではなく、ゼロから積算するゼロベース予算方式で取り組んでまいります。

本定例会に提出した議案等は、合併に関連して、町の福祉の向上と総合的な地域振興を図るため区域ごとに地域振興協議会の設置条例を提案いたしました。本予算については、旧町村から引き継がれた暫定予算に、政策的な予算を加えるものとなります。

主なものは、大嵐地区の活性化施策として、特区指定の調査費、農林水産業関係では、山梨地産地消事業補助金を活用したフルーツランド・サクランボ事業。

観光関係では、西湖地区の集落跡地に日本の原風景を再現する「いやしの里」づくり事業の調査費。教育関係では、子どもに対する事件に対応するための防犯ブザーの補助金、小立小学校増築の用地購入費、旧足和田村庁舎を交流センターとして、整備する改修費を計上いたしました。

富士河口湖町議会役職一覧表

平成15年12月22日現在

議会議長 三浦 隆一郎		議会副議長 望月 幸子	
総務常任委員会委員 (14)	(長) 在原 長一 渡辺 周次 三浦 準治 井出 庄一郎 三浦 洋恵	(副) 梶原 恒夫 流石 安正 渡辺 勝利 流石 利道 梶原 哲次	三浦 勇揮 三浦 利信 倉沢 石根 堀内 直人
文教社会常任委員会委員 (15)	(長) 駒谷 隆利 渡辺 秀一 小佐野 勝 流石 市朗 小佐野 坦子 渡辺 一正	(副) 渡辺 満 望月 幸子 小佐野 一久 古谷 芳信 梶原 亥之雄	渡辺 余緒治 堀内 弘一 梶原 忠雄 白壁 賢一
産経土木常任委員会委員 (15)	(長) 古屋 一哉 堀内 定 小川 清治 渡辺 慎次 渡辺 重寿 小佐野 弘士	(副) 倉沢 鶴義 三浦 隆一郎 小佐野 量 渡辺 武彦 渡辺 岩次	朝比奈 充知 小林 博文 堀内 勝 高山 泰治
議会運営常任委員会委員 (10)	(長) 梶原 亥之雄 朝比奈 充知 在原 長一 白壁 賢一	(副) 流石 市朗 渡辺 余緒治 古谷 芳信 堀内 直人	古屋 一哉 駒谷 隆利
議会だより編集委員会委員 (10)	(長) 小佐野 坦子 堀内 定 古屋 一哉 駒谷 隆利	(副) 渡辺 余緒治 渡辺 秀一 渡辺 武彦 小佐野 弘士	三浦 勇揮 流石 利道
監 査 委 員	倉沢 石根		
ごみ対策特別委員会委員 (15)	(長) 古谷 芳信 流石 安正 三浦 準治 井出 庄一郎 渡辺 岩次 倉沢 鶴義	(副) 高山 泰治 三浦 勇揮 小林 博文 渡辺 満 小佐野 坦子	小佐野 一久 堀内 弘一 梶原 忠雄 渡辺 一正

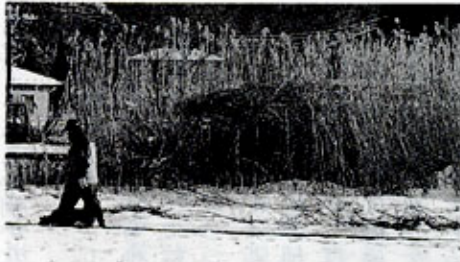


高山泰治議員

遊休地の雑草放置について

質問・町内で空き地を放置し、雑草や雑木を茂らせた場合、町の指導などに適正に対応しない所有者や管理者に罰則として過料を科したり、行政代執行で強制的に除草、伐採ができるとする条例の制定を提案する。

農林課長・罰則のある条例制定が雑草放置の抑止的な効果があることは、十分予想できるが、税の滞納処分がそうであるように、その執行に当たってはより慎重に当たらないければならない。執行を前提に綿密に作成せねばならず、かつ地域の公共の福祉の確保という観点から目的を絞って憲法、法律等で保障している財産権に抵触しないよう、慎重を期するために、調



遊休地の雑草放置

査、研究にもうしばらく時間をいただきたいと思っている。すべての農地が耕作され、野菜や花、果樹等が栽培され、実り豊かな農地本来の姿として景観形成される事が農業振興に携わる者の使命と考えている。

放置された雑草の除去がどうしたら実行されるか、農業委員会と協議を進め効果のある条例制定について研究を重ね、農業振興としての遊休農地解消に向けて努力する。

要望「富士河口湖町自然環境を守りはくむ条例」

では罰則及び強制力がないために、成果が上がらないのも事実であり、景観形成上又、北中の通学路、花粉症が増え、又枯れ草の炎上等危険がいつぱいである。今後研究し条例の制定を要望する。

司法書士による法律相談について

質問・司法書士に簡裁訴訟代理関係業務認定者の資格が与えられ、法務大臣から認定を受けた司法書士が、富士河口湖町に2人おり、消費者金融などとの債務の減額や返済方法の見直し、倒産、家賃の滞納、売買代金の未払等の身近なトラブルを相談する。司法書士による無料法律相談の開設について。

企画課長・南都留地区の司法書士会が中心になって、毎月10日に富士吉田市役所を中心として、無料相談をしている。

談コーナー、電話相談、テレビ相談、移動県民相談等を行っている。

毎月20日河口湖を中心として相談窓口を開いている。10時から3時までふれあいセンター（小立）町の梶原顧問弁護士を中心に行政相談員、心配事相談員が相談に当たっている。午後1時から3時まで勝山ふれあいセンターで弁護士が中心に相談を受け、足和田では毎月第2火曜日に行政相談員、民生委員、保護司、人権擁護員などを中心に心配事相談を受けている。障害者等の看護で生活が苦しい、自己破産の方法、不動産所得の節税等専門的な相談を受けられる体制が整っている。

合併後も弁護士、行政相談員、心配事相談員、主任児童員、そして人権擁護員ほかを含めて今までどおり継続する事に決定した。これによりきめ細かい相談が出来る。提案された司法書士の相談コーナーもこの中に加えていく。



朝比奈充知議員

県道及び町道の整備

質問・船津足和田線と船津大嵐線の県道と町道の整備と勝山の通称モロコシ街道と大嵐の中心部を結ぶ300m程の町道が幅員が狭く、カーブがあり早い時期に整備が必要では。

坂本助役・新生富士河口湖町の町づくりを主導する役割を担うと同時に広域のかつ幹線的な性格を有効な道路とし新町の庁舎から長浜に至る3.2kmの間の新たに県の合併支援事業の一つとして行っており現在は航空写真測量に基づく概略設計の路線に絞り現地測量を進め新庁舎から勝山を経た県道鳴沢河口湖線と交差する2.1kmの間の詳細設計が完了後直ちに用地測量に入りたい意向で出来るだけ早くルートの確定を県と協力し合併支援道路を都

市計画道路として事業化されるよう努める。大嵐地区の中心部に至る町道整備は、今年の二月に公募された旧河口湖町の都市計画マスタープランでは合併支援道路139号線との間に船津地区の既設道路、これは土地改良の中の道路であるが、これを延長し大嵐地区に至る町道計画を提案し、その実現方策として地区計画制度を提案している。土地の費用負担は、受益者負担を原則とする中、地区所有者間の費用負担割合等を定め、工事費用は町の負担と提案する。議会の同意又、地域振興協議会との間で必要費用負担の考え方を論議し整備の方向をみる。

質問・除雪対策について。建設課長・新町の建設土木、造園、水道、生コン

12月 定例会

こういふことを

平成十五年第一回富士河口湖町議会定例会（十二月定例）が平成十五年十二月十五日（十二月二十二日）までの六日間開催されました。議案四十六件、同意二十件を審議し、全議案を可決、同意しました。

議案

- 一、富士河口湖町特別職報酬等審議会条例・富士河口湖町助役定数条例・富士河口湖町特別顧問設置条例・富士河口湖町治水委員会条例・富士河口湖町行政財産使用料条例・富士河口湖町地域振興協議会条例・富士河口湖町環境審議会条例・富士河口湖町都市計画審議会条例・富士河口湖町社会教育委員会条例・富士河口湖町文化財保護条例・富士河口湖町心豊かな文化の町づくり振興条例・富士河口湖町スポーツ振興審議会条例・河口湖美術館協議会条例・河口湖中原淳一美術館運営協議会条例
- 二、富士河口湖町税条例の一部を改正・湖南水道事業常任委員会設置条例の一部を改正・富士河口湖勝山ふれあいセンター条例の一部を改正・富士河口湖町温泉事業運営審議会条例の一部を改正
- 三、町道の路線認定について
- 四、富士河口湖町一般会計予算ほか二十六件

次の各種行政委員の選任及び任命の同意

富士河口湖町助役・富士河口湖町収入役・富士河口湖町特別顧問・富士河口湖町監査委員・勝山財産区管理委員・富士河口湖町公平委員会委員・富士河口湖町固定資産評価審査委員会委員・河口湖治水委員会委員・湖南水道事業常任委員会委員・富士河口湖町教育委員会委員

次の各財産区管理委員選任の同意について

船津財産区・小立財産区・大石財産区・河口財産区・河口西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区・長浜財産区・西湖財産

人事

- 区・青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区
- 一 富士五湖広域行政事務組合議会議員の選挙について
 - 二 富士河口湖町選挙管理委員及び補充員の選挙について



決めました

11月 臨時会

初議会が、十一月二十六日から十二月一日までの四日間開催されました。発議四件、報告十八件、議案四件を審議し、全議案を原案どおり可決しました。

発議（議員提出議案）

- 一、富士河口湖町議会会議規則の制定
- 二、富士河口湖町議会委員会条例の制定
- 三、富士河口湖町事務局設置条例の制定
- 四、富士河口湖町議会だより発行に関する条例の制定

報告

- 一、富士河口湖町役場の位置を定める条例ほか一五九件の条例の専決処分の報告及び承認を求めることについて
- 二、富士河口湖町指定金融機関の指定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて
- 三、富士河口湖町内の字の区域を新たに画することについての専決処分の報告及び承認を求めることについて
- 四、平成十五年度富士河口湖町一般会計暫定予算ほか二十六件の専決処分の報告及び承認を求めることについて
- 五、富士五湖広域行政事務組合・青木ヶ原衛生センター・青木が原ごみ処理組合・山梨県市町村総合事務組合・山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合・山梨県市町村自治センター・富士吉田市外一市一町五村一組合ことばの教室設置協議会・富士吉田市外一市一町五村一組合指導主事共同設置への加入についての専決処分の報告及び承認を求めることについて
- 六、富士河口湖町・鳴沢村介護認定審査会の共同設置・富士河口湖町と富士吉田市との間における一般廃棄物の処理（旧河口湖町）に関する事務の委託についての専決処分の報告及び承認を求めることについて
- 七、平成十五年河口湖町国民健康保険特別会計補正予算（第三号）・平成十五年勝山村一般会計補正予算（第七号）・平

成十五年足和田村一般会計補正予算（第三号）・平成十五年足和田村簡易水道特別会計補正予算（第三号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて

条例の一部改正

・富士河口湖町職員給与条例・富士河口湖町長等の給与及び旅費に関する条例
 ・富士河口湖町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条例に関する条例
 ・富士河口湖町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例



委員会報告

務 会 常 任 委 員 会

委員長	在原 長一
副委員長	梶原 恒夫
委員	
渡辺 周次	流石 利道
流石 安正	倉沢 石根
三浦 勇揮	三浦 洋恵
三浦 準治	梶原 哲次
渡辺 勝利	堀内 直人
三浦 利信	井出 庄一郎

所 管 全 般

・小立簡易郵便局事業特別会計予算
・河口湖治水事業特別会計予算
・一般会計予算総務常任委員会関係
質問・防災費の増額補正について。
管理課長・旧河口湖町、旧勝山村、旧足和田村の移動系防災無線機の名義を富士河口湖町へ統合変更するためである。

質問・新春懇談会の出席

人数と、その会場は。
町長・人数は行政職、議会議員等の相当数、会場は、勝山ふれあいセンターを予定している。

質問・国民健康保険の滞納について。
税務課長・滞納については医療機関への支払関係もあり前向きに取り組む。

質問・土地の課税方法について。
税務課長・税法上により登記の地目と違う土地は現況課税としている。見落しに十分に気をつけて課税をする。

質問・農地や荒廃地の火災予防対策は。
防災係長・鋭意努力し、調査の上、所有者に連絡し、その対策を講じている。

質問・内、固定資産税三億の徴収方法は。
税務課長・時間外、土日出勤を行い、滞納者徴収に努める。

質問・防災無線の受信装置で、聞こえにくいという声があるが。
防災係長・受信不調地域は、外部アンテナ設置で対応する。建物の影響や

受信しにくい所は、早急に改善の手当てをとる。

質問・新庁舎のランニングコストについて。
管財係長・十一月分の光熱費は、四十九万四千円である。本稼働により、さらに増加すると思われるが引き続き節減を徹底する。

質問・エレベーター等の経費削減対策は。
管財係長・新年度から、他の施設と一括した保守契約の上、経費削減に努める。

質問・庁舎の清掃について。
管財係長・常駐作業員による日常清掃、及びガラスの定期清掃を行う。

質問・御坂町との災害協定について。
町長・東八地区との合併後も経過措置を含めてお願いしていきたい。

質問・小立簡易郵便局の危機管理は。

町長・対策を講じていく。

質問・庁舎の2F、3Fへの案内表示がわかりにくい。
管理課長・新たに設置することも考えてみる。

質問・防火水槽の各地の設置状況について。
防災係長・旧河口湖町百九十八基、旧勝山村四十七基、旧足和田村三十七基、消火栓は町内全域六百七十四である。

質問・新聞地に対する防火水槽の設置について。
防災係長・開発行為関係で協議をする際、消防水域がない地域は、整備を要望していく。

質問・災害に対する取り組みについて。
防災係長・富士山の防災状況は、当面富士吉田市を中心とした火山防災協議会で継続協議していく。

質問・納税組合の存続について。
税務課長・十年間位の期間を設け、口座振替への移行など両面の対応も考える。

質問・東海沖地震に備え備蓄品の現行数について。
防災係長・旧河口湖は、四地区に設置、旧勝山村、旧足和田村は、備品内容を再確認の上、総合整備する。

質問・災害に対する取り組みについて。
防災係長・富士山の防災状況は、当面富士吉田市を中心とした火山防災協議会で継続協議していく。



新しい防災無線

文教社会 常任委員会

委員長 駒谷 隆利
副委員長 渡辺 満
委員

渡辺 秀一 古谷 芳信
望月 幸子 梶原 忠雄
渡辺 余緒治 小佐野 坦子
小佐野 勝 梶原 亥之雄
小佐野 一久 白壁 賢一
堀内 弘一 渡辺 一正
流石 市朗

・国民健康保険特別会計
予算
・老人保健特別会計予算
・介護保険特別会計予算
・居宅介護支援事業特別
会計予算
・船津公園墓地事業特別
会計予算
・小立公園墓地事業特別
会計予算
・勝山墓地事業特別会計
予算
・富士河口湖町一般会計
予算の内文教社会常任
委員会関係予算

質問・国民健康保険の被
保険者数は何名か。
保険課長・十二月一日現
在で九七一九名で、加入
率は四〇、九%である。

質問・老人保健特別会計
の一時借り入れ限度額の
根拠は。

保険課長・予算規模と過
去の実績から三千万円が
適当と考え計上した。

質問・居宅介護サービス
給付費が、勝山・足和田
分に振り分けてあるが河
口湖分は賄えるのか。

質問・国民健康保険特別
会計予算の予算措置につ
いて。
保険課長・旧町村の予算
残額を繰り越す予算措置

保険課長・概ね実績から
判断して、賄える。

質問・旧町村での可燃物
の処理単価と処理の一元
化について。

環境課長・旧勝山・足和
田村ともに民間委託であ
り運搬費を含まずトンあ
たり四万五千円、旧河口
湖町は富士吉田市への搬
入で約二万五千円である。

青木ヶ原処理場の改築に
は約四億円かから六年間
稼動でトンあたり約五万
八千円の単価となる。

従って、旧勝山・足和田
分についても富士吉田市
への搬入が望ましい。

町長・以前から富士吉田
市と折衝中であるが、今
後は議会と連名で要請書
を出したい。

質問・青木ヶ原処理場を
六年稼動とする根拠は何
か。

農政課長・山梨県のエコ
パーク構想が六年後を想
定しているからである。

質問・町内の小中学生に
貸与予定の防犯ブザーに

ついて。

学校教育課長・防犯ブザ
ーは、手のひらサイズで
単価約四百五十円、携帯
方法は学校と協議し指導
する。冬休み明け早々に
購入・貸与を考えている。
また、防犯ブザーは、学
校備品とする。



貸与される防犯ブザー

質問・地域防犯の点から
も重要であるが、定期的
な活動の場を設けたらど
うか。

学校教育課長・入学前後
など、PTAや懇談会と
協議し設置場所が明確に
なるようにしていく。

質問・生徒の通学路の雑
草対策はどうしているか。
学校教育課長・危険と思
われる箇所については、
土地所有者に整備をお願
いしている。

質問・平成十七年度小立
小学校の教室が不足する
が、その後の進捗状況は。

生涯学習課長・過日、関
係者の内諾を得た。早速
測量を行い、三月下旬ま
でに契約をしたい。また、
今年度中に設計をし、平
成十六年六月・七月に着
工予定である。

質問・健康科学大学の町
の体育施設利用状況と料
金について。

社会体育係長・一ヶ月前
に一月分の予約を受け、
現在、町民体育館七サ

クル、くぬぎ平スポーツ
広場五サークルの活動が
ある。料金は町内小中高
校生と同じである。

質問・旧勝山・足和田の
資源ゴミ回収は。

環境課長・旧河口湖町は
区・自治会で行いゴミが
半減している。今後旧二
村においても自治会活動
の一環で行いたい。

質問・インフルエンザ予
防接種率は。

健康推進課長・町全体で
六五才以上三九%、中学
生以下二四%である。

質問・学校給食センター
化について。

教育長・センター方式は
船津小・小立小・湖南中
学校が対象で約一八〇〇
食となる。今後検討会を
設け実施していく。

質問・町の女性センター
設置時期と場所について。

町長・合併特例債や支援
金を充て、平成十六年夏
に現中央公民館を改装予
定である。

所管全般

質問・「子供一〇番の
家」の設置状況は。

学校教育課長・平成十年
から各小学校と交番と協
議し百二十三（船津三十
四・小立二十五・河口十
四・大石十二・勝山十五
西浜十七・大風六）箇所
設置してある。

産 経 土 木 常 任 委 員 会

委員長 古屋 一哉
副委員長 倉沢 鶴義

委員
堀内 定 渡辺 武彦
三浦 隆一郎 堀内 勝
朝比奈 充知 渡辺 重寿
小川 清治 渡辺 岩次
小佐野 量 高山 泰治
小林 博文 小佐野 弘士
渡辺 慎次

町道の路線認定

平成十五年度富士河口湖町水道事業会計予算
平成十五年度大石簡易水道事業会計予算
平成十五年度松風台簡易水道事業会計予算
平成十五年度河口簡易水道事業会計予算
平成十五年度足和田簡易水道事業会計予算
平成十五年度下水事業会計予算
平成十五年度温泉事業会計予算
平成十五年度産経土木常任委員会関係予算

質問・水道水への薬品配布量は、
水道課長・各施設の機械で自動的に混入し、残留塩素0.2mg/Lの基準が出るよう減菌している。

質問・下水道事業の起債がどれ位あるか。
水道課長・事業債は、3町村合併し、約79億円で

ある。内訳は、旧河口湖が40.6億、旧勝山が13.5億、旧足和田が24.7億である。

質問・森林整備計画は、
農林課長・旧河口湖町では、北岸は産地災害防止を利用し、資源の循環利用。南岸は、森林と人の共生をうたう計画である。

質問・SARS患者の日赤への受け入れは、
町長・観光対策面でも、受け入れ側の対応を日赤にお願いしているところであり、隔離病棟がないので、可及的な対応を行うこととなっている。

所 管 全 般

質問・五感文化構想の中で、味覚が低迷している感があるが、
町長・地域の味覚が一番低迷しているが、地産地消の特性を生かし、河口湖のワカサギ、西湖のヒメマス等を食材として利用し、特産物として、一年中提供できるよう指導していく。また、アウイダケも、一月末には、出荷できそうなので、サクランボ、ブルーベリーに

続き、観光施設で使っていく考えである。
質問・サクランボの来年度の見込みは、
農林課長・11aのハウスを追加し開園予定で、2倍を見込んでいる。

質問・旧勝山村の、流鏝馬まつりについて。
観光課長・伝統あるイベントなので、積極的に、関東圏を中心に、PRし誘客に勤める。



流鏝馬

町長・合併記念行事のイベントの一つとして、実行委員会を中心に運営、実施をお願いする考えである。

質問・勝山の道の駅構想について。
町長・一定のルールをキープしていただいた中で観光協会に委託していき、現在の2、3倍は、必要とも思われるので、今後、課題として取り組んでいく。

質問・イチゴ、サクランボ、ブルーベリーの入園状況は、
農林課長・イチゴが入園1200円で、7000余人、サクランボが2000円で、700余人、ブルーベリーが、1000円で、1万人である。

質問・地籍調査の来年度予定は、
地籍係長・浅川地区の20haを実施し、数値情報化する予定である。

質問・レトロバスの運行計画は、
観光課長・現在は黒字で運行している。全体を見据え西湖方面にも6、8便を予定し、赤字が発生した場合、補填し実施していく考えである。



レトロバス

質問・除雪について。
建設課長・業者に集まっていたいただき、打ち合わせを実施し、除雪の仕方などを指導し、徹底していく。

質問・富士山の日で、おこなうイベントの一つである大焚き火のやぐら組みについて。
観光課長・2月22日、29日までを、富士山の日ウィークとする。河口湖観光ボランティア協会と相談し、保険に加入した中、ケガに気をつけながら、危険の少ない人数でやぐら組みを行い、大焚き火を実施していく考えである。

質問・道路の未登記について。
建設課長・3,000筆以上あるので、用地担当と相談し、年次的に解決に向け鋭意努力する。

県営船津浜駐車場対策は、産経土木委員会に、付託され、今後、審議していくこととなりました。

ここが聞きたい！ いっぱん

質問



渡辺 武彦議員

ゴミ処理の一元化

質問・ゴミ処理の形態が、旧村単位で違うが、一元化の方向性は。

環境課長・町民に平等なサービスと言う行政の基本からは、現状の処理形態はいささか不均一である。その打開策として一つは、再度、青木ヶ原衛生センターを稼働させる考え方であり、もう一つは、富士吉田市へ処理をお願いするものである。青木ヶ原の稼働も調査の結果、可能であるが、改修費用に四億円かかるので、県のエコパーク構想の実現までの間と考えると、費用対効果の点から、甚だ高い処理単価になり、再稼働は財政上、難しいと思われる。吉田への処理依頼の方向性は、事務方サイドで何度となく接触を持ち、少なからず進



美化センターへの搬入

捗している感はあるが、吉田の議会、自治会等の対策、建設当時の地元への振興事業等の関係があるので、慎重を期さなければならぬと考えている。ゴミ問題は、一地域だけのものではなく、県全体、ひいては、国全体で対処しなければならぬ問題であるので、住民一人一人の意識改革を図るとともに、横との連携を密にし、これらの動向を見極めつつ、町長の公約の一つでもあるゴミ処

理の一元化に向けて最大限努力をしていくつもりである。

十六年度予算編成

質問・国での三位一体の改革の中、予算は厳しい状況にあると思われるが、各地区の町民の期待に沿えるような、予算編成を行っていくのか。

町長・予算は厳しい状況にあるが、過去の経緯、実績にとらわれず、ゼロからの出発であるゼロベ

イス予算の方向で予算編成にあたる考えである。主たる事業として、特例債だけで、約21億円を投入し、インフラ整備を中

心に、住んでよかった、住みたい街づくりの基盤整備をめざす。また、大嵐地区の地域活性化、西

い



いやしの里予定地周辺

湖地域のいやしの里構想等をにらみ調査費を計上し、地域振興協議会等を通じ、協議し、一部事業実施に入りたいと考えており、勝山においては、中央通りを139号線のバイパスまで延長していく考えを持っている。

地産地消

質問・地産地消をどのように考え、推し進めていくのか。

農林課長・地元スーパーで15種類の地場野菜を販売し、また、学校給食に、12種類の新鮮な地元野菜を提供している。来年度には、100%河口湖ブランドの、本格ワインが誕生

する。今後は、中国産きのこアウイダケも見通しがついたところであり、また、西湖のヒメマスも大変おいしい魚であるので、河口湖のワカサギとあわせて、新町の特産品となるよう、両漁協を支援していきたい。今後とも、地産地消を推進する事業の活性化に鋭意努力

をしていく考えである。



西湖のヒメマス

30人学級

質問・山本知事の公約である4月から導入の30人学級への対応は。

教育長・対象校である船津小と小立小には、アク

ティブクラスではなく、30人学級を導入し、勝山小は、新アクティブクラ

スの対象となるので非常勤講師を1名配置し、個

に応じたきめ細かな教育を目指していきたい。町

においては、管内小学校で3年生まで単独の教諭を配置していましたが、30人学級導入により、教

育環境がさらに整うため、教育効果の向上を目指し、一層の努力をしていく考えである。

児童・生徒の安全対策

質問・町内においても不審者が発生しているが、対応策は。

学校教育課長・不審者の目撃情報、相次いでいることから、犯罪未然防止のため、町内小中学校の全員に、防犯ブザーを1月16日に配布することとした。今後も、情報の収集と伝達に心がけ、保護者や地域の人達との連携をさらに密にし、信頼関係を深めながら、児童生徒の安全対策に、まい進していく考えである。



防犯ブザーと子供

人材の育成、登用の重視について

質問・今回の町長選挙で町民に対し、人材の育成、登用の重視を挙げており、行政活動の実りある成果を生むのも、要は人であると示している。私も常日頃から、まちづくりは人づくりだと言っているが、やはり人づくりの根源は教育である。教育を受け持つ学校の責任は大きく、義務教育の責任者である町長の立場も重いものがあると考えられる。合併して、町内の学校が十校となり、学校の実態は、規模の大小、教育の内容と推測される。この機会に、町内十校の実態を調査し、学校教育のレベルアップが必要と思ひ、学校教育に対する保護者の



堀内 直人 議員

要望をアンケートで実施し、その為のプロジェクトチームを編成し、実施すべきであろうと考えるが、町長、教育長の考えは。

教育長・各学校とも目指すのは、どの学校でも、心身ともにたくましく、人間性豊かな子供の育成である。教育は人なりという言葉が示すとおり、教師の資質、人格が児童、生徒の人間形成に大きな影響を与えることは確かである。各学校間には調査しなければならぬ項目がたくさんあり、保護者が、今後不安を抱いた

ら、要望があるようであれば、定期的な開かれ集を、対処したいと考えている。アンケートの実施とプロジェクトチームの編成については、しばらく時間をいただきたい。

町長・町役場の職員が変われば、町が変わると云われている程、役場職員の対応は重要だと思っている。不登校の子供、家庭が先生と相談する場所の為、研修センターの建設も考えている。職員の向上については、県職員とのパートナー方式を取り、町職員の資質の向上に取り組んでいきたい。

上九一色村との合併とメインテーマについて

質問・富士山と湖と高原のまち、日本の湖水地方をメインテーマとした新町建設計画は、上九一色南部との合併が必須条件である。上九一色村南部との合併が出来ないときは、計画の見直しを迫られるばかりか合併特例債も約20億は減少する。又、本栖湖、精進湖がなくなると、4つの湖を持つ日本の湖水地方も2つの湖となってしまう、富士山と湖と高原のまち、日本の湖水地方のメインテーマはキャッチフレーズががすんでしまふと考えられるが、町長としてどのような対策を考えているか。

町長・上九一色村の皆さん方に初心を忘れないでいてほしいと申し上げたい。まだ名前のことが引っかかっているようである。

コウモリ穴を、エントランスとして散策路計画を県の観光課が検討し、環境省とすり合わせをしている。青木ヶ原の自然を



堀内 弘一 議員

富士河口湖町の桜の名所づくりの計画

質問・新町の桜の名所として湖畔のウォークトレイルから奥川の堤防を整備してフルーツランドを見ながら、ペンション村まで桜を植栽して、桜の名所を造ったらどうか。春の富士河口湖町の新しい

守りながら、保護、保全できる方向へ取り組んでいく予定になっている。湖水地域については、行政が外れても民の観光協会を中心として今後4湖連絡のPR活動をする事についてそれほどマイナスイメージはないだろうと思っている。



い桜の名所として町民の憩いの場、健康づくりの場は勿論、観光振興としても大きな期待がもてると思うが執行部の考えを伺いたい。

町長・富士山と湖と桜は日本のシンボルである。ご提言いただいた桜並木については県道上九一色線からペンション地域まで直線で約一キロに右岸

左岸を出来れば県の施行の協力をいただき舗装あるいは又、インターロッキング等々を配置しながらあるときは歩道でありあるときはサイクリングロードもできるような、それに桜を配置しながらよりよい環境を目指したいと思っている。県の財政が厳しい折ですが河川関係の今の県の治水課とも協議を重ね、また要請をし県の届かない点については、町予算も視野に入れながら思いの保てるような延長あるいはゾーンを考えていきたい。

河口湖と西湖の観光の連携について

質問・町村合併が実現し独自の観光資源をもつ町村が合併することにより観光的に大きな魅力づくりが図られると同時に新町行政にも大きな期待がかかる。四つの湖をもつ素晴らしい町になると思うが、まず先に合併した河口湖と西湖の観光の連携を今後どのよ

うに考えているか伺いたい。

町長・全体事業として南岸は八木崎公園から小海公園それをさらにのぼすようにして、完成しつつあるウォークトレイルゾーンにできたら桜の植栽をし、北岸については大石、長浜、西湖の根場地域まで紅葉街道構想を実現したいと思っている。

観光課長・河口湖と西湖地域の資源、施設を一定のテーマごとに結びつけた花めぐり、ビューポイントめぐり、紅葉めぐり歴史文化めぐり、自然と文化めぐりなど観光テーマルートを提示し本地域の魅力ある観光の多様性のアピールと新たな視点で両地域の連携を行う必要がある。各種イベント等の連携を計り両地域の活性化に向けて鋭意努力してゆく。さらに河口湖と西湖の連携を図る等の人材交流の促進、人材の育成、観光の先駆的な考え方等の研修を行い、河口湖と西湖の連携を図っていききたい。

新町の小学校の現状と将来

質問・新町においては小規模校が何校かあるが、財政的に厳しくなっている現在、統合すれば済む問題であるが、どの学校も現状で存続させるには生徒数を増やすことだ。

町外の若い人達に良くて安い住宅を提供する。定期借地権方式などの定住人口奨励策を取り入れるも一つの方法ではないかと思うが、将来的に現状の小学校の存続をどう考えているか伺いたい。

町長・どのように取り組むかという事を私どもとしても最も重要視しているかなければと思っている。定例議会でも理解していただいたようにいわゆる条理化を含めながら、今後地域の振興協議会を軸とさせていただき、ご提言いただいたような方式やいろいろの制度を十分考え、ある時は地区の役員、住民の理解をいただきながら進展策を創出していききたいと考えている。



梶原 忠雄議員

青木ヶ原散策路の整備について

西湖周辺の道路整備について

観光課長・現在林道や歩道の上だけに限らず、樹海内どこでも歩くことができるため、樹海の生命線である表土やコケなどが損傷してしまうケースが近年多発している。そこで樹海トレイルを整備し、樹海の散策の魅力を高め、不必要な立ち入りや制限することによる自然環境の保全と利用の調和を図る。中でも特に貴重な自然が残るエリアではトレイル以外の樹海内への抑制をするとともにトレイル沿いには植物や野鳥など自然解説板を設置し、学びながら散策を楽しめるような整備を進め、樹海内の自然の保護に努めていく。

の交差ができる道路整備を県へ働きかける。

西湖地区イベントについて

観光課長・西湖のイベントに対する効果

助役・道路の性格が、生活道路から観光道路へと変更する中、これらのことを踏まえ、対策としては、歩行者と車の分離が望ましいことは言うまでもないが、歩車道の完全分離をするには相当の経費と時間を要する。そこで歩行者や自転車の安全が損なわれると思われる急なカーブ、また見通しの悪い箇所等について調査、検討を行いそのうち緊急度のより高いものから林務環境部と協議し、危険箇所の改良などに努めたいと考える。

町長・坂本助役と早速、都留建設部、吉田支所工務課へ行き、この改良をお願いし、調査をしていただけることになった。河口湖上九一色線のバス

一、関係団体のコミュニケーションが図られる。
二、継続することにより知名度がアップする。
三、来訪者の増加につながり、地域の活性化と経済の波及効果をもたらす。今までは、役場等の関係者が中心になって、野鳥の森に樹木の制作を行っておりましたが、今年から西湖観光協会が中心になり、樹木を作るような形になっている。今後のイベントは受益者、または地域の方々が計画実施するものを後押しするよう形にしたい。財源的には観光費、あるいは合併特例支援金、これらの一部を入れ、イベントを盛大且つ、成功裏にこなせることの方で、今後取り組んでいきたいと考えている。

等四十二社の業者と打ち合わせを行い合併前と同じ状態で行う。



除雪

雇用対策のための 公営住宅等の整備に ついて

町長・大嵐小学校の存続を伝統的に願われている事も十分承知しており、現在十七人の生徒数も三、四年後の〇六年度は六人程度、十年後には、いやが応でも消滅になる。その解決策を考えると公営住宅を何とか作りたい。今は、過去の時代とちがい新設はありえない古い住宅をリニューアルする改築、つくり直す方向の

助成が中心である。

過日県の土木住宅課へ出向き国庫補助金の半分は対象になる。三階以上の建物は絶対的必要条件としエレベーターを付ける。障害者対策及び高齢化対策を含めながら必置義務であり、一戸当り一千五百万円位で、三、四十戸を今後視野に入れ考えて頂きたい。船津、小立を含め合計百四十戸の県営、国営が作られており、私も一番喜ばしく思うのは入居者のほとんどが子供を産み育てる年代が多い事である。大嵐地区に調査費を計上し、地域振興協議会等々皆さんとじっくり検討して大嵐地区へ将来の合併支援道路の建設と同時に、それをにらみながら国の補助金が期待できますが順番待ちの傾向もあり、山梨県の方としては早く平成十八年と回答も頂いている。



130周年を迎えた大嵐小学校

町も企業誘致の奨励の減税策もあり、固定資産税の減免も考え、大嵐地区に目を向け条例の中でも他と比べて特区を考え、今申した事は、その一部であろうかと思っており、速やかに地域の、振興協議会あるいは、諸役員、区の皆さんと協議をさせて頂き、用地の取得の見込み等の方向で前向きに取り組み、大嵐地区の三人の議員さんのご指導、ご協力をお願いし積極的に取り組むことを改めて答弁させて頂く。



小佐野 勝議員

保育所運営費 負担金の削減について

質問・生涯教育の原点であります幼児教育に対して、どの様に対応していくのか。

町長・保育所の運営費負担金のいわゆる国の補助

策について、財政計画全般に、まず自己財源の増嵩に取り組み事が、一番のポイントになります。これについては、旧河口湖町の場合、約一億五百万円の入湯税があり、同じくフィットリゾートクラブが有望な温泉を掘り当て、仮に十万人をカウ

ントすると、百五十円で一千五百万円が見込める。更に河口湖の湾岸は浅川、船津浜を経由して小立の丸栄ホテルまで約7.2kmを配管してあるが、これを延伸する形で、富士ビュ

ーホテル迄持つていく考えである。これが導入されると富士ビューホテルの入込み観光客が、多い時で年間四万五千人です。で年間七百万円増の税金になる。又、釣り税等も、多い時には四千万円位、見込める。

保護者の父母の年所得は、相当落ち込んでいるのが昨今の状況である。こういう時代を背景にしながら、行政として今やらなければならぬのは、幼児の保育料の減免策を十六年度予算に反映できるかどうか検討を加え、実現の方向で取り組みたい。国からの運営費等々については、総合的な対応を図り、保育所の行政に、影響のない運営が図られる様に取り組む。

反面、経費の削減の一つの代表例として、政府登録の国際観光旅館への固定資産税の減免も、十五年度で終了する。この成果が、一千六百五十万円、今迄還付していたものが、十六年度からは不用品となる。これらをにらみながら財政計画を考えていく。経常経費の圧縮と町の発展性を、スクラップアンドビルドの観点で相關的に考えていく。保育所の運営費については、保育料をどの様にしていけるか、できれば苦しい中にあっても数%でも減税できる様取り組む。



健やかな幼児達

紙面の都合により要約して掲載致しました。

富士河口湖町誕生 新町に寄せるおもい

— つぎのことを伺いました —

1. 行政全般について
2. 教育関係について
3. 社会福祉関係について
4. その他

● 女性（14歳）学生 勝山

1. 環境面（河口湖をきれいにする。自然を大切にするなど）を重視することにより、観光面が特に発展してほしい。
2. 学校は今のままそれぞれの学校の伝統を守っていききたい。
3. 施設訪問を学校全体ですれば、老人と学生の交流も深まると思う。

● 男性（15歳）中学生 船津

1. 合併したので、他地域の人々との交流・遊びの場を作って欲しい。子供の意見を行政に反映して欲しいので、子供議会もしてみたい。
2. 先生による差をなくし、部活にもっと積極的に取り組み、塾に頼らない教育にして欲しい。洋式トイレ（ウォッシュレット機能付き）を増やして欲しい、また学校行事でもっと芝サッカー場を使えるようにして欲しい。
3. おじいちゃん・おばあちゃんに優しい町にして、ボランティア活動の場を増やして欲しい。
4. 自然にやさしい町になって欲しい。

● 男性（16歳）高校生 長浜

1. 当地域に於いては、集落が分散している為に防犯に対する取締りの強化を望む。
2. 高齢者、障害者の為に、公共物等にバリアフリーの充実を望む。
3. 湖畔周辺の芥が多いので、地区に於いての美化活動を望む。

● 男性（24歳）会社員 小立

1. 活力があり全国でも有名な河口湖町だったので、富士河口湖町においても維持しながら、今まで以上に良い町にして欲しい。
2. 社会教育の充実に力を注いで欲しい。経験豊富な社会人の話を聞く機会を作って欲しい。（中・高校生のときに聞きたかった）健康科学大学の講義を受けてみたい。
3. 町民用のプール（25m、50mの競泳できる規模）を作って欲しい。
4. 友達が就職で大変苦勞している。観光ばかりでなく、就職が充実出来るように、いろいろな企業の誘致をすすめてもらいたい。

ご意見は無作為に伺い要約致しました。

● 男性（29歳）会社員 西湖

1. 合併して行政サービスに低下が見られないか、定期的にアンケートを行いサービスの向上を図る。新町住民としての意識向上の為、地域間の交流を深めるイベントを開催し、特質を大切に守りながらの運営を願う。
2. 外国語サークルや、生涯学習サークルの充実を図りながら地域在住の外国人との交流を深める。観光立町としての国際化の中で行政職員も外国語等を身に付け、スムーズな対応がほしい。
3. サービス提供側のボランティアの育成と、その為の女性達の意見交換が出来るシステム作り。

● 男性（30歳）会社員 勝山

1. 公共施設の利用等Web上より行えるように整備してほしい。アンケートなどにより多くの住民の意見をこまめに聞いてほしい。ゴミの分別をもっと徹底し、ISO14001の取得を目指して。
2. 音楽、文化などいいものに触れられる機会を増やしてほしい（大人も）。学校給食（保育園も）の世帯負担を軽減化。文化施設の無料開放。
3. 老人と子供に優しい町に。健康科学大学とのコラボレーションによる介護サービスの充実。
4. 各地域での行事、イベント等はなくさないで。

● 女性（35歳）主婦 船津

1. 町村合併により行政は拡大され、地方行政ならではの特異性を出して行かなければならない。特に道路の整備・住民税の軽減・借財の返済及び住みやすい町づくりが大切だと思います。
2. 家庭と学校が単一的な見方、対応ではなく、統一的な町ぐるみの教育が必要不可欠である。
3. 健康科学大学の誘致に始まり福祉に重点を置いた町として、全国にアピール出来る町ぐるみでの対応が重要である。

● 女性（38歳）船津

1. 広報・回覧板などを見て町民のための基礎づくりを一生懸命されている事に感謝している。ただ、末端の人々が把握しておらず、もっと周知・徹底して興味を持ってもらえるようになれば良いと思う。
2. ゆとり教育と題され始められた週5日制、何がどうゆとりなのかいまだに分からない。今まで培ってきた伝統的な学校行事が省かれ、子供の学力低下が心配のあまり母親も共働きののに塾通いさせ出費がかさんでいるのが現状だと思う。

● 男性（38歳）会社員 河川

1. 新町中期事業計画には賛同している。実現に向け適切なマネジメントレビュー実施をお願いしたい。又各地域に不公平感のない効率の行政取り組みに期待している。
2. 少子化、家庭孤立化により人間関係希薄化の為社会性を学ぶ機会が減少する。各種イベントを通じ学べる機会の必要性を感じる。



富士山の日・大焚火（八木崎公園）

● 男性（45歳）会社員 西湖西

1. 先に設置された地域振興協議会が行政主導でなく住民主導で進められる事（委員会の公開、会報、集会）等の充実。
2. 少数学級の早期確立、地域の伝統、特色を生かしつつ学習が統一に行なわれ、各小中学校の交流及び交換学習会の開催を望む。
3. 住民サービスが地域隔差の無い様にと、介護サービス等が中央集約的にならない様に。
4. 高齢者や子供達が自由に利用出来るシャトルバスの運行。観光立町の理念は第一ですが、それと平行連鎖して、他産業の発展も出来る様望む。

● 女性（45歳）パート 勝山

1. 伝統的な行事は継続して欲しい。
2. 子供達の参加出来るイベントを充実して欲しい。
4. 富士山デー、花火、レトロバスなど、西湖、勝山にも積極的にして欲しい。

● 女性（47歳）主婦 河川

1. 河川湖町の行政に概ね満足している。新町においては観光だけでなく財政的にも住民に負担のかかることなく住みよい活気ある新町づくりを期待する。
2. 将来を担う子供たちを育てるという意識を持ち、いじめ・不登校等多くの問題を抱えているが、子供の心を十分に理解し、心理を汲んだ教育の出来る学校づくりを切に願う。
新学習指導要綱による学力低下を危惧している。

● 男性（48歳）公務員 大嵐

1. 合併支援道路の早期完成を。

2. 地域の小学校だけは存続していただきたい。
3. 他地区の潜在的な社会福祉関係施設あるいは福祉サービスを紹介していただきたい。

● 女性（51歳）会社員 小立

1. 地域による不公平感がないようまた合併して良かったと思える行政を期待する。
2. 心の教育（大人も含めた）を町教育理念とし学校・地域・家庭が一体となり学び体験する場を多く企画して欲しい。
3. 生涯教育の中核を担うであろう図書館が住民のニーズに応えられる状況にありません。大学も開校している今早急に新図書館建設を望む。

● 男性（58歳）会社員 勝山

1. 不便にならないように。イベントは最少限に。
2. 30人学級でない方がよい。月に1~2回、小学生と先生、保護者で話し合える場が欲しい。
3. 将来を見すえた試算をして欲しい。老人への家庭訪問をまめに。
4. ハザードマップ等、粗い部分についてでも広く知らせておいた方がよい。

● 男性（61歳）自営業 大石

1. 若彦路トンネルの早期完成に伴う、地域再開発整備を行って欲しい。大石地区のフルーツランドが、観光施設の拠点となる様お願いしたい。ゴミ対策をより一層積極的に取り組んで欲しい。
2. 教職員が、児童の家庭や地域の人と一体になって、集団活動を通じた教育が望ましい。
3. いろいろな福祉法の中で、利用者の立場に立って適切なサービスが出来る様お願いしたい。
4. 各地域の現状を把握し、地域の必要に応じた理解を住民がもてる様お願いしたい。

● 女性（63歳）パート 勝山

1. 全地域に行き渡るような町政を。
2. 学校関係のお金の負担が相当多くなるというわさがあり、若いお母さん達は非常に心配している。負担増を少なくする予算を考えて。
3. 子育て支援に力のある町にしてもらいたい。
老人がすこやかに楽しく過せる施設を欲しい。

● 女性（64歳）無職 大石

1. 地域全般にわたって、公平感のある神経の行届いた行政で執行していただきたい。
2. 地域、家庭、学校が一体になって、情報・意見交換など行い、道徳教育の充実を図るため、行政のバックアップを望む。
3. 福祉活動は、いまのままでは限界があるので、専門的な知識を持つ「NPO」の参画をお願いしたい。また、老人給食について、受給審査がある程度やってもらいたい。

皆さまの貴重なご意見を町政に反映できるよう、議会としても努力していきます。
ご協力ありがとうございました。

議員活動状況報告(抜粋) 11月～12月

11月

15日	富士河口湖町誕生記念式典(開庁式)
21日	全員協議会
26日	初議会(1日目)
27日	初議会(2日目)
28日	初議会(3日目)

12月

1日	初議会(4日目)
4日	議会運営委員会
10日	議会運営委員会 全員協議会
15日	12月定例会開会(条例・予算等)
16日	一般質問
17日	総務常任委員会 文教社会常任委員会
18日	産経土木常任委員会
19日	全員協議会 自治会長・区長会議
22日	委員会報告・12月定例会閉会
25日	入札 富士山の日総会

絆



11月15日新たな町が誕生し、はや二ヶ月余が過ぎ行政内容は大きく変わりました。

町民一人一人の生活は以前と変わった事を余り感じません。

しかし多くの人々が変わらないことを望み

ながら、他方大きな何かを期待しております。変わらないうものは、サービスと生活そのものが以前より悪くならないことです。

「大きな何か」とはサービスと生活が向上することを望んでいるのではないのでしょうか。それには、他人に求めるだけでなく、地域住民として自分達でできることはやろうというボランティアの心を持った人々が、活動をはじめているのも事実



です。

核家族化や人々の考えの都市化により地域の相互扶助が希薄になり、行政への依存が増しています。

多岐に渡る社会福祉は自立支援が目標になり措置から利用・契約と変わってきております。行政・利用者相方の負担軽減を目指す上でも、希薄になった家庭や地域の相互扶助活動の強化が必要ではないでしょうか。

いち方策に過ぎない

と思われませんが、自治会活動の活性化により、住民相互の信頼関係が強化され、相談・援助等問題解決の力になるはずです。

学校・福祉・その他関係団体及び行政との連携の上にも、時間の短縮が期待できます。

微細なことと思いますが、希薄になった社会の現状をもう一度考える機会かもしれません。

勝山九一九
流石 喜久男



西湖地区の14日祭礼

編集後記

富士河口湖町がスタートし、議員数44名の議会だより創刊号をお届けします。

合体したばかりの大きな身体がスムーズに動けるよう、議員一人一人が全体のバランスを崩さないよう力を合わせて進んでいきます。

1月11日の成人者のつどいは新成人の輝かしいスタートを祝う人々で会場(勝山ふれあいセンター)がいっぱいになり、あらためて町の未来を力強く感じられる日でした。

皆さんに議会の内容を出来るだけわかりやすく伝える為、読んでいただける議会だよりの発行に委員一同勤めています。

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

編集委員一同

議会を傍聴

しましゅう!!

次の定例会は3月です。

役場の議会事務局で住所氏名を記入すれば、だれでも傍聴できます。